

死んだら、 どうなるんだろう？



あなたも、考えたことがありますか？



以前、新聞の投稿欄に、次のような文章が紹介されていました。

死んだら、どうなるんだろう。私はよく、そんなことを考える。
…他の人はどうだろう。私が敏感なのかと思ったが、まわりの
友人に聞いてみるとやはり、恐ろしくて考えるのをやめるとい
う。大人になったら、怖くなくなるのだろうか。…

(大阪府 13歳 女子中学生)



あなたも、ふとした時に、あるいは身近な人の死をきっかけに、死につい
て考えたことがあるかもしれません。死について考えることは、とても大切
です。だれもが、いつか必ず死を迎えるからです。けれども多くの人は、
「怖いから」「忙しいから」「考えても答えがないから」と、深く考えない
ようにしているのではないのでしょうか。

聖書には、「人は死んだあとどうなるのか」という疑問への確かな答えが
書いてあります。

死後の行き先

世の中には、「死後の世界はない」「死んだら消えてなくなる」「生まれ変わる」など、様々な考えがあります。中には「消えてなくなるのなら、辛い現実から逃れるために死んだ方がよい」と考える人さえいます。けれども、これらは人の想像や理想であって、当てになりません。しかし聖書は、この世界と私たち人間をお造りになった神様の御言葉であり、聖書には死後について次のように書いてあります。



「土のちり（人の肉体）は元あったように地に帰り、

霊（その人自身）はこれを与えた神に帰る。」※1

「人間には、一度死ぬことと死後にさばきを受けることが定まっている」※2

人は死後、神様の前で罪のさばきを受けます。神様によって造られた人間は、心のどこかで、そのことを感じているため、多くの人が死に対する恐れを抱くのです。

罪と罰

罪のさばきは、だれにとっても無関係ではありません。聖書の教える罪とは、殺人や誘拐のような犯罪だけではなく、ののしり、ねたみ、嘘なども含まれています。さらに、多くの人は、人間にいのちと生きるために必要なものを与えてくださっている神様を無視し、感謝することもなく、自分勝手に生きています。このような生き方は、神様の前で大きな罪です。



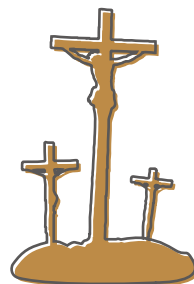
そのため、すべての人は自分の罪のさばきを受け、死んだ後、火の燃える地獄で罰を受けなければならないのです。生きている間の苦しみには終わりがありますが、死後の地獄での苦しみには終わりがありません。

備えられた救い

神様は決して、あなたが地獄に入ることを望んでおられません。私たち人間を、心から愛しておられるからです。そこで神様は、私たちを地獄から救い、天国へ入れるために救い主イエス・キリストをお遣わしになりました。

イエス様は、十字架にかかり、すべての人の罪の罰を、身代わりに受けてくださいました。死刑の道具として恐れられた十字架が、今では「救い」を表すシンボルとされているのは、イエス様が人の救いのために十字架で死なれたからです。

さらにイエス様は、死後3日目によみがえり、今も天で生きておられます。だれでも、神様の前で自分の罪を認め、イエス・キリストを「私の神、私の救い主」と信じるなら、救われます。



「この方（イエス・キリスト）を信じる者はだれでも、

その名によって罪の赦しが受けられる」※3

「わたし（イエス・キリスト）が道であり、真理であり、いのちなのです。

わたしを通してでなければ、だれも父のみもと（天国）に

行くことはできません。」※4

イエス様を信じた人は、死を恐れる必要がありません。確かな天への希望と救いの喜びをもって生きることができます。あなたもイエス様を信じ、この大切な救いを受け取ってください。

※1：伝道者の書12章7節

※3：使徒の働き10章43節

※2：ヘブル人への手紙9章27節

※4：ヨハネの福音書14章6節

郵便はがき欄